



縄文時代の石器が出土しました

平成23年度から始まった、ほ場整備事業に伴い、今年度は町教育委員会でも、西山・潤田団地ほかの発掘調査を行いました。

今回の調査では、縄文時代の石匙いしさじと呼ばれる石器が出土しました。

今回出土した石器は考古学でスクレイパーと呼ばれているもので、日本では石匙(和名)とも呼ばれています。石匙はつまみ状の突起をもつ打製石器の一種です。縄文時代早期から前期にかけて使われた、現代の万能ナイフのようなもので皮はぎとも呼ばれています。石材はサヌカイト※でつまみのないもの(写真左)のほうが古いかもしれません。 ※サヌカイトとは…香川県で産出される漆黒色で緻密な安山岩。



スクレイパー
(上石田A遺跡から出土)



スクレイパー(石匙)
(重長A遺跡から出土)



東消防署に水槽付消防車を配備

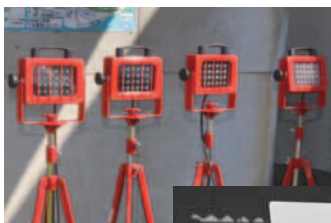
光地区消防組合東消防署に水槽付C D-I型消防ポンプ自動車※が配備され、2月28日(金)、町役場で配備式を行いました。

この車は、初期消火に迅速に対応するため、600リットルの水槽と河川等の落差のある自然水利にも、放水圧・放水量の余裕があるA-2級の主ポンプを装備しています。

「高齢者のつどい」を開催

2月21日(金)、町老人クラブ連合会主催の「高齢者のつどい」が西田布施公民館で開催されました。

周東総合病院の古賀保健師と河本理学療法士による「ためしてハッケン!健康長寿のヒケツ」と題した講演に、参加したみなさんは、熱心に耳を傾けていました。



▲LED投光器



▶長机



宝くじ助成事業により備品を整備

田布施町まちづくり推進協議会では、財団法人自治総合センターが実施した平成25年度コミュニティ助成事業により、コミュニティ活動支援用の備品(長机、LED投光器)を整備しました。この事業は、同センターがコミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報を図るために、宝くじの収益により助成を行うものです。

◆田布施町まちづくり推進協議会事務局
(企画財政課内) ☎52-5803